

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		都市計画基本図等作成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	辻 賢一郎				
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	原田 和彦				
	基本事業	17	計画的な市街地の形成			所属班	都市計画班	(内線)	2246				
予算科目		会計	1	款	8	項	4	目	1	事業連番	10170	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 : 12 コスト削減優先度評価結果 : 6
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													
【事業の内容】 2万5千分の1管内図の印刷、空中測量、デジタルオルソの作成、予察、現地調査、地図データの修正、都市計画図(1万分の1)印刷、都市計画基本図(2千5百分の1)原図の作成、1万分の1白図原図の作成、在庫の管理													
【業務の流れ】 地図データの修正、原図修正、印刷の発注、在庫の管理、納付書発行													
【主な予算費目】 需用費													

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 在庫の管理、納付書発行	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 印刷の発注、在庫の管理、納付書発行		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) km → ア:市全域の面積 イ:整備すべき地図の種類	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市の地理情報(データ、原図、印刷物)、都市計画(用途地域、道路、地区計画など都市計画決定済みのもの)		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) km → ア:市全域の面積 イ:整備すべき地図の種類	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市の地理情報や都市計画の地図データの修正を行い、都市計画基本図(2千5百分の1白図)原図、1万分の1白図原図の作成、都市計画図の印刷を行う。		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) km → ア:整備の完了した面積 イ:整備の完了した地図の種類	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 都市計画法第14条に定められる都市計画の図書に使用するほか、各種計画、事業、調査、研究の基礎的資料として活用することができる。		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 枚 → ア:利活用数	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	6,090	10,458	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	1,472	736	614	0	0	
	(A) 事業費計	千円	6,090	11,930	736	614	0	0	0	
	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	2	2	
延べ業務時間		時間	300	160	10	10	10	10	10	
(B) 人件費計		千円	1,191	637	40	40	40	40	40	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,281	12,567	776	654	40	40	40	
活動指標	ア: km イ: 種類		53.17 3	53.17 3	53.17 1	53.17 1	53.17 0	53.17 0	53.17 0	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	ア: km イ: 種類		53.17 3	53.17 3	53.17 1	53.17 1	53.17 0	53.17 0	53.17 0	
成果指標	ア: km イ: 種類		3.9 0	49.27 3	53.17 3	53.17 3	53.17 3	53.17 3	53.17 3	
上位成果指標	ア: 枚		0	0	354	360				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合併に伴い、平成17年度に2万5千分の1管内図を作成し、平成18年度からは都市計画基本図(2千5百分の1)、合志市全図(1万分の1)、都市計画図(1万分の1)の作成に着手した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併により行政区域が現在の姿になった。また土地利用が進み、建築物や道路などに変化が見られる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
地図については印刷まで完了しており特に意見や要望は無い。

事務事業名	都市計画基本図等作成事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 都市計画や土地利用のみならず各種事業の実施や計画立案等のための基礎資料である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 合志市だけを対象とした地図であるため、市で整備するほかない。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 合志市全域が対象なので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 整備水準については通常あるべき水準を確保した。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 合志市として調整した地図は他にないため、適切な管理の上で供給されなければ市の地図を必要とする市内外の全ての事業に影響を及ぼす。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 市の地図を作成管理する事業は他にない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 印刷まで終わっていて事業費はゼロである
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 出来上がった地図の管理(販売含む)のために最低限の人員が必要である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 一般に譲り渡す場合に、受益者から印刷費相当の金額を徴しており公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 地図については引き続き在庫状況の把握に努めて、必要最小数を確保する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
地図による資料作成については印刷物だけでなく、課に備え付けの地理情報システムの活用も図る。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)